

とことん地域コンテンツ・・その魅力と可能性について ＝第2回四国コンテンツ連携推進会議 開催記念イベント＝

地域をテーマとして作成された映像・画像などの地域コンテンツは、地域資源として様々な分野への利活用の期待が高まっています。

四国コンテンツ連携推進会議では、こうした地域コンテンツに着目し、その利活用、流通促進の仕組みづくりの検討やイベントを開催し、地域づくり、人づくりを目指しています。

今回の開催記念イベントでは、地域コンテンツの有用性や可能性、そして魅力についてご理解いただける機会として、下記のとおり開催いたします。

入 場 無 料 (定員制)

開催日時 平成20年3月27日(木) 13:00～17:00

(開場 12:30)

開催場所 徳島県郷土文化会館 5F 小ホール

(徳島市藍場町2丁目14番地 TEL 088-622-8121)

その1 第2回 四国コンテンツ連携推進会議 13:00～13:55

地域コンテンツで地域づくり、人づくりを目指す四国コンテンツ連携推進会議の活動総括と次年度の活動方針を報告します。

その2 コンテンツ・コンテスト 14:10～15:00

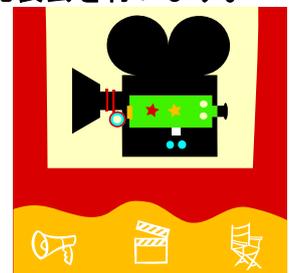
四国発の魅力ある映像コンテスト・「四国コンテンツ映像フェスタ'07」の応募作品のうち、各地区で選考された優秀作品の上映会及び最優秀作品の審査、発表会を行います。

●優秀賞(4作品)

「隆禅寺のとう」、「愛すること」、「山出(やまいだし)
～棚田の里"山出"の農村体験in愛南」、「和紙「十川泉貨紙」の伝承」

●特別賞(4作品)

「神の棲む山」、「夏の午さがり」、「けむけむ」、
「土佐くろしお鉄層中村・宿毛線の電車でGO！」



その3 座談会 15:15～16:50

地域コンテンツで先駆的な取り組みをされている方々による座談会。

地域コンテンツの魅力、価値、・・さらには、地域づくりや人づくりなど、地域コンテンツをキーワードに拡がる可能性などを、談じていただきます。

テーマ「とことん地域コンテンツ・・その魅力と可能性について」

四国大学
(株)中海テレビ放送
(有)プリズム
(株)オーエン
(財)一とくしま推進財団

教授 山本 耕司 氏
専務取締役 高橋 孝之 氏
代表取締役 岸本 晃 氏
代表取締役 東 浩司 氏
主査 佐光 広格 氏
(順不同)

※ お席は、前方3列を除き、自由席となっておりますので、前方空席よりご着席いただきますようお願い申し上げます。

【座談会 参加メンバー プロフィール】

山本 耕司（やまもと こうじ）氏

四国大学大学院経営情報学研究所・同経営情報学部 教授

附属経営情報研究所長、情報化推進室長

専門はコンピュータシミュレーション、メディア情報学。博士（工学）

映像クリエイター育成カリキュラムを開発し、四国大学に映像メディアコースを設置して、多数のデジタル映像・コンテンツの創造者を地域社会に輩出している。一方、映像配信等を業務展開する企業運営や映像制作の学生発ベンチャー企業の創設などに携わり、地域社会との連携のなかで、地域づくり、人づくりに精力的に取り組まれている。

e-とくしま推進会議座長代理、e-とくしま推進財団評議員、徳島県OSS勉強会座長等を歴任。

高橋 孝之（たかはし こうし）氏

映像コンテンツを地域づくり、地域や人をむすぶ手段として、ケーブルテレビをはじめとした地元の情報通信インフラの利活用と産官学民を巻き込んだ住民主体の情報通信メディアによる地域づくり、人づくりに精力的に取り組まれている。

(有)米子フォト工房、(株)山陰ビデオシステム、(株)サテライトコミュニケーションズネットワークの代表取締役。(株)中海テレビ放送の専務取締役。鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会の副会長、中海カナダ協会、総務省 地域情報化アドバイザーなどを数多くの委員等を歴任。

岸本 晃（きしもと あきら）氏

14年間の民放在職中に「地域づくりの手法」としてのテレビに着目、住民が番組制作を経験することで総合的な企画力を培う「住民ディレクター」を提唱。発想の基本は「押せば映る」「身体がカメラ」「番組はオマケ」。「住民ディレクター養成講座」を核に、全国各地の社会活動をプロデュースしている。CATV、民放、衛星、Web放送局などを活用し、コミュニケーションの活性化による地域振興を目指す。(有)プリズム代表取締役、NPOくまもと未来理事長。総務省地域情報化アドバイザー。日経地域情報化大賞・日経新聞社賞受賞、NHKスペシャル「変革の世紀2」（共著）など。

東 浩司（ひがし こうじ）氏

全国のクリエイターネットワークのもと地域コンテンツの流通を手がける映像ベンチャー企業 (株)オーエン代表取締役。地域コンテンツのトータル・プロデューサーとして、全国各地からの映像コンテンツの集配信事業を通して、ユビキタス・ブロードバンドにおけるコンテンツの利活用、流通のビジネスモデルを先駆的に取り組んでいる。放送局社員として、約20年間にわたり、テレビ・ラジオ・イベントのプロデュース、営業を歴任した。在職中、地域活性化をテーマに数々のテレビ・ラジオの番組企画やビッグイベントを立ち上げた。現在、オンライン百科事典の映像版で、映像情報の整理ツールでもある「事典tv」等を運営中。

佐光 広格（さこう ひろのり）氏

(財) e-とくしま推進財団 主査兼係長

前職である徳島県立中央病院時代には地域連携電子カルテシステムの開発・導入に従事。

現在は、地域コンテンツの流通に関する実証実験をはじめ、ICTによる「オンリーワンとくしま」を目指し、官民協働で徳島県のICT化を推進する取組を精力的に展開中。

●四国コンテンツ連携推進会議

平成19年3月28日設立、平成19年度から3ヶ年度を活動期間とする産学官民の62団体による異業種連携組織。

地域に散見される映像をはじめとしたコンテンツに着目し、その利活用、流通促進の仕組みづくりを検討することにより、地域づくり、ひとづくりを目指す活動を展開中。

平成19年度は地域コンテンツの生産－流通－消費というコンテンツ・サイクルのうち、地域コンテンツの生産フェーズを中心にコンテンツ制作に関わるルールづくり、研修会の支援・開催、CATV事業者の協力のもと映像コンテストなどを実施しました。

●参画団体 一覧

徳島県、三好市、徳島県神山町、香川県、愛媛県、松山市、愛媛県愛南町、四万十市、高知県黒潮町、高知県津野町、高知県檮原町、高知県大月町、高知県四万十町、(財)e-とくしま推進財団、かがわ県民情報サービス(株)、日本放送協会松山放送局、ケーブルテレビ徳島(株)、(株)ケーブルメディア四国、(株)愛媛CATV、高知ケーブルテレビ(株)、南海放送映像サービス(株)、(株)テレビ高知映像、(株)エス・ピー・シー、(株)あわわ、(株)ワイヤーオレンジ、SHE KNOWS JOURNAL(株)、西日本電信電話(株)愛媛・香川・徳島・高知支店、(株)NTTドコモ四国愛媛・香川・徳島・高知支店、(株)STNet、専門学校穴吹カレッジ、専門学校穴吹デザインカレッジ、国際デザイン・アート専門学校、国際デザイン・ビューティカレッジ、徳島大学、高知大学、四国大学、徳島文理大学、四国経済連合会、四国観光立県推進協議会、愛媛県美術館、ドコモエンジニアリング四国(株)、パナソニックSSエンジニアリング(株)四国社、マイクロソフト(株)西日本ビジネス本部四国支店、(株)オーエン、(有)ホームページワークス、(株)ログファーム、エフェーシステムエンジニアリング(株)、(有)生活創造工房、NPO法人e-えひめ、NPO法人 Hug-Communications、特定非営利活動法人NPO砂浜美術館、バーチャル本川村、(株)レゾナantz、本間知的財産事務所、総務省四国総合通信局、経済産業省四国経済産業局

順不同

このイベントは、平成20年11月7～9日開催する「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」プレイベント事業、(財)e-とくしま推進財団の「地域コンテンツセミナー」との共同事業です。